

株主の皆さまへ

第80期 株主通信

2017年夏号

2016年4月1日~2017年3月31日

株主の皆さまには、平素より
格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに、第80期
株主通信 2017年夏号を
お届けいたします。



2016年度の当社グループの業績は、売上高7,942億円（前期比4.7%減）、営業利益676億円（同8.5%増）となりました。収益構造のさらなる強化により増益を達成しました。年間配当については1株あたり68円とし、期末配当は34円としました。

2017年度から新しい4ヵ年の中期経営計画「VG2.0」をスタートさせました。VG2.0では「質量兼備の地球価値創造企業」を掲げ、2020年度までに売上高1兆円、営業利益1,000億円を目指します。

いま世界では、労働力の不足や高齢化の加速などの社会的課題が深刻化しつつあります。VG2.0では、このような社会的課題の解決に向けて、当社ならではの強みを発揮できる分野に注力します。

例えば、ファクトリーオートメーション領域では、工場の製造ラインの高度な自動化を担う幅広い製品群に、AI（人工知能）などの最新技術を融合し、モノづくりに革新を起こして豊かな社会づくりに貢献していきます。ヘルスケア領域では、家庭用医療機器による測定に、医師による診断サービスをかけあわせることで、高血圧に起因する脳梗塞や心筋梗塞などの重大疾患の発症ゼロを目指します。そして世界中の人々の健康ですこやかな生活に貢献していきます。

VG2.0の初年度となる2017年度は、売上高8,100億円、営業利益680億円、売上総利益率は40%以上を計画します。稼ぐ力をさらに向上させ、将来に向けた投資を積極的に実行します。

これからも全社一丸となって新たな価値を創造し、よりよい社会の実現を目指していきます。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月
代表取締役社長

山田義仁

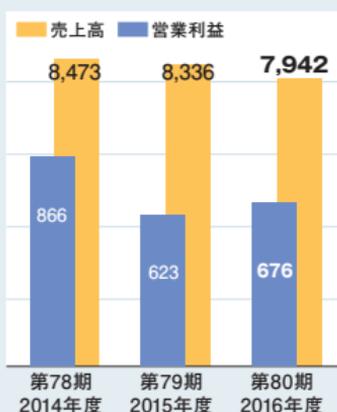
OMRON オムロン株式会社

〒600-8530 京都市下京区塩小路通堀川東入 URL: <http://www.omron.co.jp/>

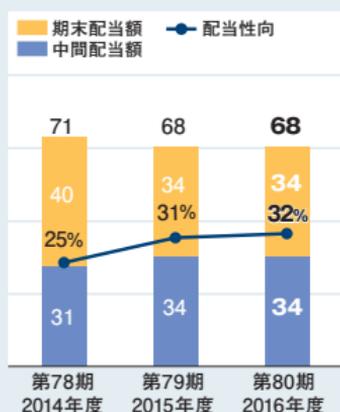
第80期(2016年度) 決算ハイライト(連結)

	実績	前期比
売上高	7,942 億円	△ 4.7 %
営業利益	676 億円	+ 8.5 %
売上高営業利益率	8.5 %	+ 1.0 P
税引前当期純利益	655 億円	△ 0.3 %
当社株主に帰属する 当期純利益	460 億円	△ 2.8 %
基本的1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益	215.09 円	△ 3.86 円

売上高および営業利益 (億円)



配当および配当性向 (円)



◎第80期期末配当金につきましては、1株につき34円といたしました。

第81期(2017年度) 通期の見通し(連結)

		前期比
売上高	8,100 億円	+ 2.0 %
営業利益	680 億円	+ 0.6 %
売上高営業利益率	8.4 %	△ 0.1 P
税引前当期純利益	655 億円	0.0 %
当社株主に帰属する 当期純利益	485 億円	+ 5.5 %
基本的1株当たり当社株主に帰属する 当期純利益	226.84 円	+ 11.75 円

(注) 上記は、2017年4月27日決算発表時点で入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しです。

部門別情報

制御機器事業



世界の主要な製造業の幅広いお客様に対し、センシング技術とコントロール技術を活用したオートメーション機器およびサービスで、ものづくりを支援しております。

売上高
構成比

42%

電子部品事業



主に業務民生用機器、車載機器、環境/エネルギー機器、産業機器に内蔵する制御コンポーネントやモバイル機器に内蔵するコンポーネントを提供しております。

売上高
構成比

12%

車載事業



世界の自動車メーカー、電装品メーカーに対し、車載用電装品に特化した設計、生産、販売活動を行っております。

売上高
構成比

16%

社会システム事業



安心・安全で快適な社会の実現に向け、センシング&コントロール技術およびソフトウェア、メンテナンスのトータルサービスでソリューションを構築し、お客様とともにより良い社会づくりに貢献しております。

売上高
構成比

8%

ヘルスケア事業



家庭で測る身近なものから医療機器まで、生活習慣病の予防・改善、疾病管理に役立つ数多くの商品・サービスをグローバルに提供し、人々の健康とすこやかな生活への貢献をしております。

売上高
構成比

13%

本社直轄事業(その他事業)、他

環境事業・電子機器事業・マイクロデバイス事業・バックライト事業、他



事業の育成・強化や新規事業の探索・育成を目的とした事業を、本社直轄で担当しております。

売上高
構成比

9%

これからの太陽光発電は「創って使う」、「蓄えて使う」

私たちの生活が快適で便利になるにつれ、エネルギー消費が増え続けています。しかし石油などの化石燃料には限りがあり、資源の使い方の見直しや、自然エネルギーの有効活用が必要になっています。オムロンはセンシング&コントロール技術をベースに、自然エネルギーのひとつである太陽光発電の普及に早くから取り組んできました。



「売電」から「自家消費」へ

太陽光発電が普及しはじめた当初は、創った電気を売る「売電」が主流でした。

しかしここ数年、各地で起きている自然災害による電力事情の悪化を受け、家庭での省エネルギーの重要性が再認識されています。そのなかで、創った電気を蓄えて、みずから使用する「自家消費」への移行が進むと思われます。

太陽光発電用ハイブリッド蓄電システムで「自家消費」を実現

オムロンが今年4月に販売を開始した太陽光発電用ハイブリッド蓄電システムは、昼間に太陽光で創った電力を蓄電池に貯め、夕方から夜間、翌朝までの電力をできる限りまかなうようにコントロールします。蓄電池があるので、万一の停電への備えとしても安心です。電気代の安い夜間は電力会社から電気を購入して、太陽光で創った電気の余剰分は電力会社に売ることでもできます。このシステムがあることによって自家消費を優先したり、電気の買取価格や電気料金の変化に応じて売電を優先したり、各家庭のニーズに合わせた運用が可能になります。

エネルギーの変換・制御の分野で豊かな社会に貢献

オムロンは10年間の長期ビジョンVG2020の最終ステージである4年間の中期経営計画「VG2.0」^(※1)を、今年4月にスタートさせました。VG2.0で注力する分野のひとつがエネルギーマネジメントです。「ムダなく創る」「上手に貯める」「かしこく使う」をキーワードに、エネルギーの有効活用に取り組めます。

人と地球が豊かに存続できる社会であり続けるために、私たちはエネルギー変換と制御技術を用いて、エネルギー効率の最大化に貢献してまいります。

(※1)「VG2.0」の詳細はこちら URL: <http://www.omron.co.jp/vg2020/>



世界最小
最軽量
クラス

蓄電池ユニット

世界最小最軽量クラス^(※2)

高さ約66cm、横幅約45cm、奥行12cmのコンパクトなサイズです。

階段下などわずかな屋内のスペースに設置でき、クレーンでの搬入や基礎工事也不要です。

(※2) 2017年2月現在当社調べ



これからもオムロンは、さまざまな社会的課題を解決することでさらなる成長を目指します。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

配当金受領株主 期末配当金 3月31日
確定日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人
および特別口座
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(注) 事務取扱場所の移転に伴ない、2017年8月14日以降の住所は下記となります。
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

(電話照会先) **0120-232-711** オペレーター対応
(9:00 ~ 17:00 土・日・祝日を除く)

上場証券取引所 東証第一部

証券コード 6645

株式に関するお問い合わせ

- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

▼
口座を開設されている証券会社へ
お問い合わせください。

- 特別口座に関するご照会
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- その他株式事務に関する一般的なご照会

▼
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部まで
お問い合わせください。
電話照会先は上記をご参照ください。

100株以上ご所有の株主の皆さまへ 株主優待2017申込期限のお知らせ

株主優待のお申込み期限は6月30日(金)です。
まだお申込みをされていない株主さまは、お早めに
申込書をご投函ください。

株主優待に関するお問い合わせ先:

0120-868-343 (9:00 ~ 17:00 土・日・祝日を除く)
三菱UFJ信託銀行 株主さま優待サポートセンター(オムロン優待窓口)